



横浜市提案

# 国民健康保険制度の安定的な運営に 向けた財政基盤の強化等について

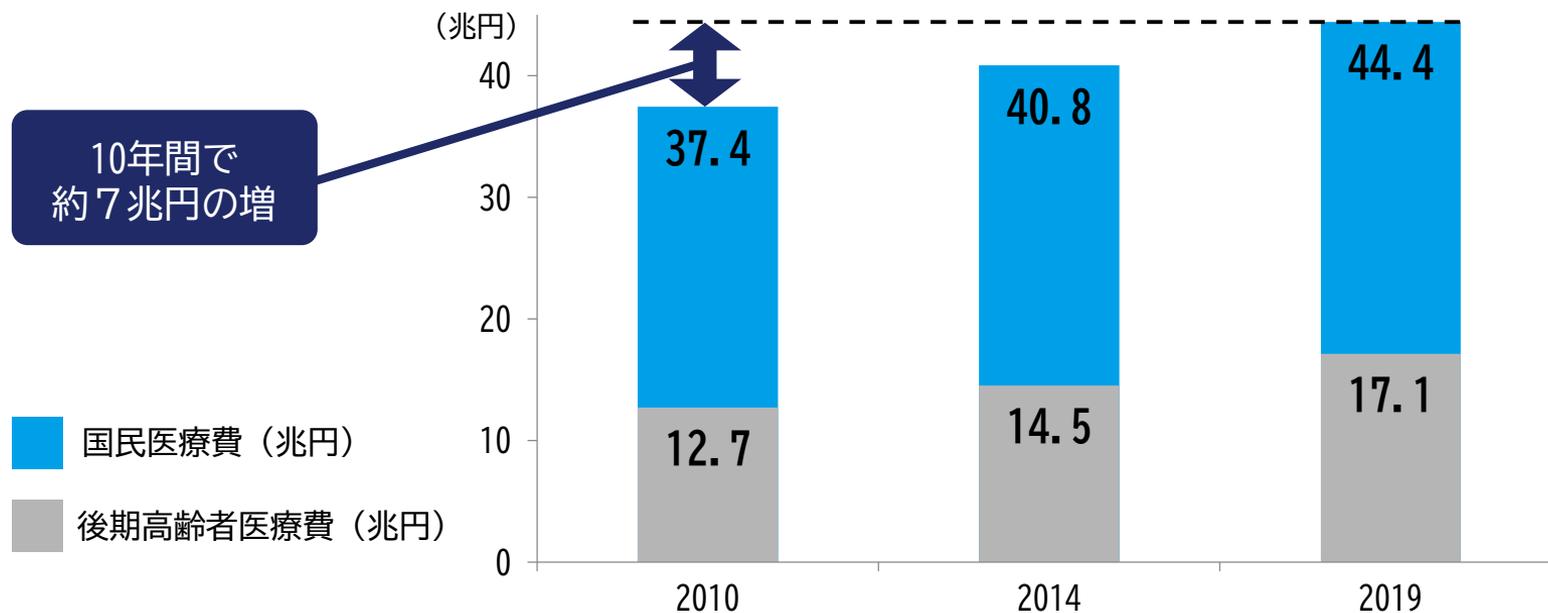
令和5年4月26日 第83回九都県市首脳会議

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER

# 1 国民健康保険を取り巻く状況①



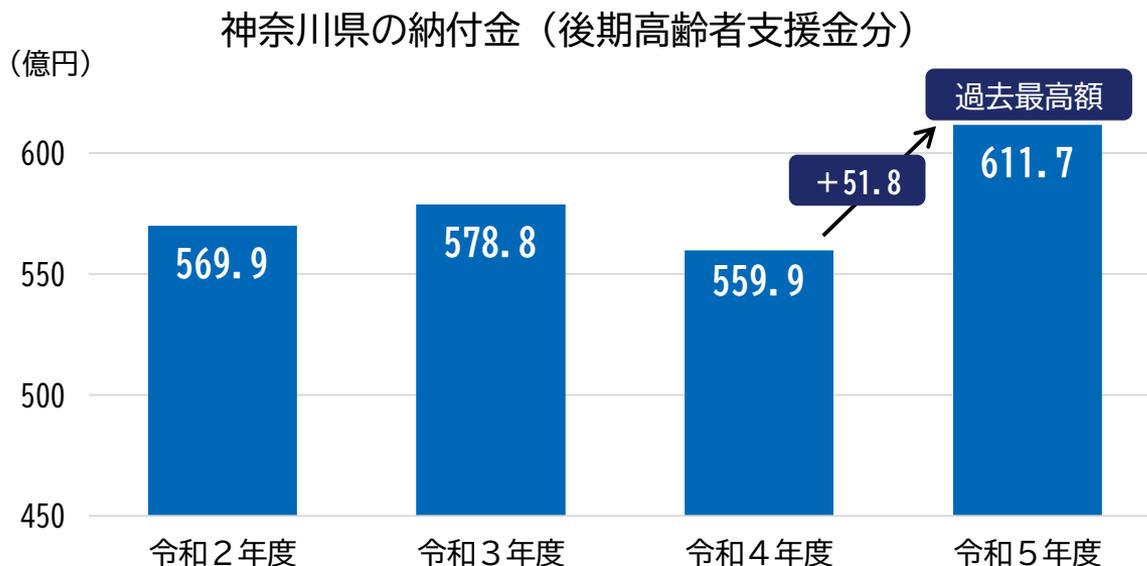
## ➤ 高齢化の進展、医療の高度化等により、医療費は増加の一途



## 2 国民健康保険を取り巻く状況②



- 「団塊の世代」が75歳に到達し、後期高齢者医療制度へ移行することにより、国保が支払う後期高齢者支援金が大幅に増加



### 3 国民健康保険制度の構造的な問題①



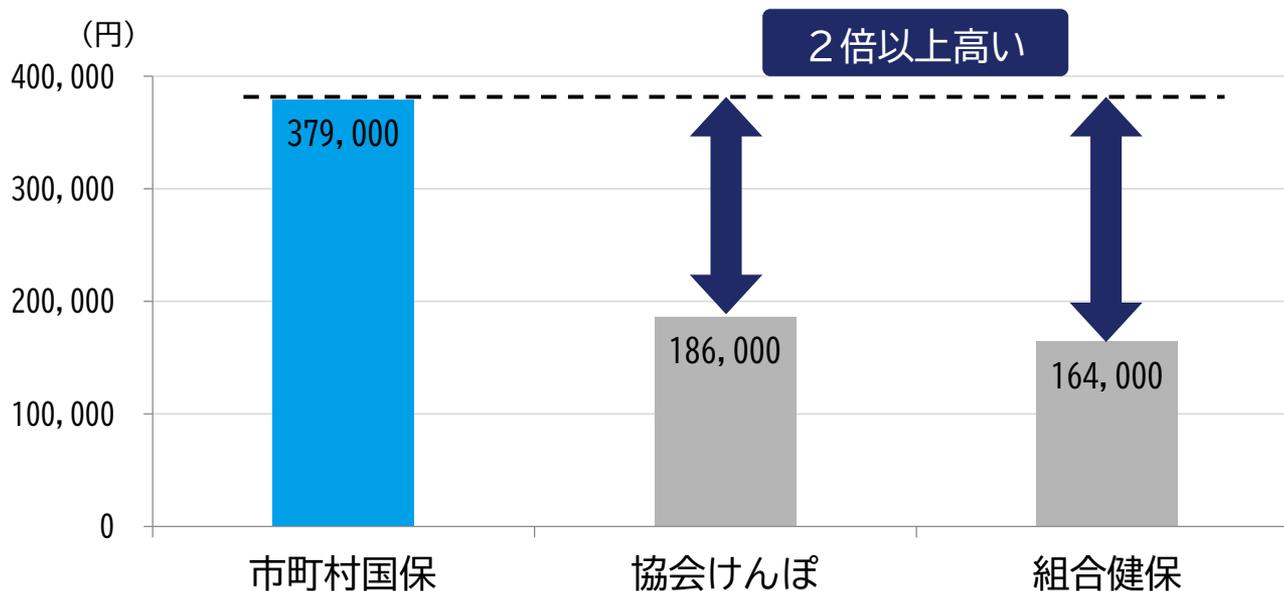
#### ➤ 高齢者の割合が高い

	市町村国保	協会けんぽ	組合健保
加入者平均年齢	53.6歳	38.1歳	35.2歳
65～74歳の割合	43.6%	7.7%	3.4%

出典：第154回 社会保障審議会医療保険部会資料

## 4 国民健康保険制度の構造的な問題②

### ➤ 1人あたり医療費が高い



出典：第154回 社会保障審議会医療保険部会資料

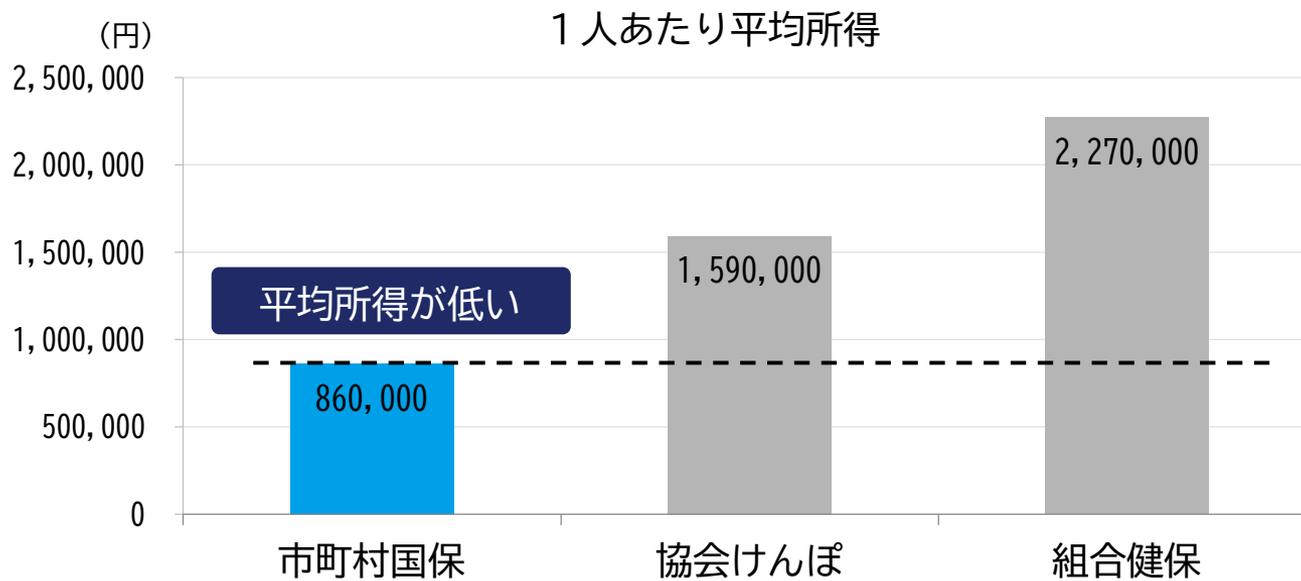
## 5 国民健康保険制度の構造的な問題③



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

### ➤ 中・低所得者の加入割合が高い



出典：第154回 社会保障審議会医療保険部会資料

## 6 「保険料(税)負担率」の実態



➤ 国民健康保険は、加入者の「保険料(税)負担率」が高い。

	市町村国保	協会けんぽ	組合健保
所得に対する 保険料(税)負担率	10.3%	7.5%	5.8%

出典：第154回 社会保障審議会医療保険部会資料



加入者に支払っていただく保険料(税)は限界がきている。  
国庫の定率負担の引上げ等、さらなる財政支援が必要。

## 7 医療費適正化への取組

---



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

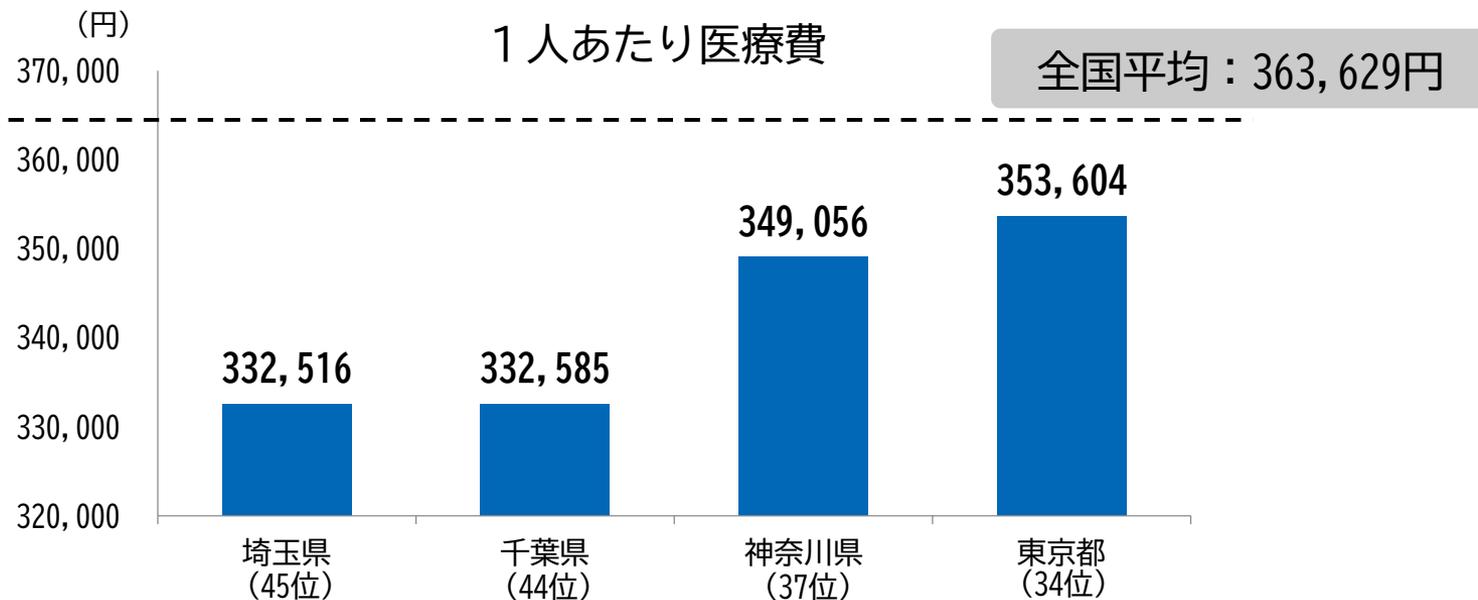
- 都道府県・市区町村は、医療費適正化の取組を推進
  - ・ 特定健診の受診率向上
  - ・ 特定保健指導の実施率向上
  - ・ 生活習慣病重症化予防 等

## 8 1人あたり医療費の地域差



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

### ➤ 九都県市の1人あたり医療費は、全国平均を大きく下回る



出典：医療費の地域差分析（令和2年度）（厚生労働省作成資料）

## 9 保険者努力支援制度の評価方法



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

- 1人あたり医療費が低い地方自治体は、十分な評価が受けられていない。

評価指標（1人あたり医療費）	評価点
① 前年度からの改善率 （1位から5位）	40
② 1人あたり医療費の実績 （47位から43位）	20

仮に評価基準が改善され、「② 医療費の実績」が「① 改善率」と同じ40点となった場合、神奈川県では、交付金額が約7億6,660万円の増加となる。

※神奈川県の令和5年度獲得評価点と交付金額から算定した1点あたり金額（3,833万円）が変化しない想定



評価方法の見直しが必要

## 10 国民健康保険制度の安定的な運営のために

---



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

- 国庫の定率負担の引上げ等、さらなる財政支援が必要。
- 1人あたり医療費の低い地方自治体が十分な評価を受けられるよう、評価方法の見直しが必要。

- 1 公的医療保険制度間の公平性の確保に向けて、国庫の定率負担の引上げ等、財政基盤のより一層の強化を、国の責任において実施すること。
- 2 高齢者や中・低所得者に過度な負担を強いることのないよう、後期高齢者支援金の増額等による保険料（税）の上昇の抑制のため、さらなる財政支援の拡充を実施すること。
- 3 各地方自治体の医療費適正化の取組に対して、個別事情に応じた人的・財政的援助や有用な知見の提供など、一層の支援を行うこと。また、保険者努力支援制度においては、一人当たりの医療費水準の低い地方自治体が十分な評価を受けられるよう、医療費水準への評価に対する配点について見直しを行うこと。